

令和6年度 学校経営方針について

校長 栗山幸彦

(1) 学校経営の方向性

- ①児童の実態，課題に応じた具体的な取組を行うこと。
- ②教職員の資質向上を意識し、学び高まり続ける学校組織であること。
- ③学校・家庭・地域の連携・協働による「地域総がかりの子育て」の継続、拡大を図ること。
- ④なお一層「働き方改革」の推進、「子どもと向き合う時間」の確保に努めること。

(2) 学校教育目標

長崎県の教育方針

長崎市の教育方針

児童の実態、地域の願い

伸 ば そ う 力 ・ 磨 こ う 心

～ 笑顔で 賢く たくましく ～

(3) 学校経営方針

「みんなでつくる 滑石小」

校風

な か ま に め ぐ ま れ た し あ わ せ な 学 校

めざす学校像

- 目標や夢を抱きたくなる学校
- 豊かな学びや経験のある学校
- あいさつや感謝の言葉が当たり前の学校
- 子どもも職員も元気な学校
- 子どもが愛着をもち、大切に使用とする学校
- 地域とともにあり、地域に愛される学校

めざす子ども像

- 心やさしい滑石っ子
 - ・あいさつができる子
 - ・ありがとうと言える子
 - ・笑顔で人に接する子
- 考え工夫する滑石っ子
 - ・目標を立てて学ぶ子
 - ・意欲的に学習に取り組む子
 - ・学ぶ習慣を身に付けている子
- 心も体もたくましい滑石っ子
 - ・やる気をもって自ら動く子
 - ・あきらめない子
 - ・体を動かすことが大好きな子
- きまりを守る滑石っ子
 - ・人の命も自分の命も大切にする子
 - ・自分の役割に責任をもって取り組む子
 - ・きちんと時間を守る子

めざす教職員像

- 教育者としての使命感と情念に満ちた教職員
- 「社会を生き抜く力」をしつかりと育む教職員
- 子どもに寄り添い、保護者に寄り添う教職員
- 地域に溶け込み、地域を愛する教職員
- 「ワーク・ライフバランス」を実践する教職員

将来の夢や希望の実現へ向け、充実した教育を提供できる滑石小であり続けたい。

(4) 令和6年度 重点努力事項

滑石っ子を育む「**滑石小教育実践プラン**」

(第4次長崎市教育振興基本計画) 2025年の目指す子どもの姿
「子どもが、長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、
新たな時代を生き抜く力を身に付けている。」

基本施策

長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜くこどもを育みます。(G1)

(重点化方針)「子どもたちの学力を保障し高めること」自立

「子どもたちの社会性を育むこと」共生

「教育の質を高める環境の構築」働き方改革



学校教育目標 及び 方針

伸 ば そ う か ・ 磨 こ う 心
～ 笑顔で 賢く たくましく ～

(重点1) 「一人一人に寄り添う」個に応じた教育実践

- ① 「滑石っ子を語る会」の充実による校内支援体制の確立
→ **毎月1回**
- ② 「校内支援委員会」を中心とした、特別支援教育に関する教職員の資質・児童理解の向上及び深化
→ **毎月1回程度、適宜研修や資料提供**
- ③ 「保護者との合意形成」のもと、具体的かつ効果的な「個別の指導計画、支援計画の作成(通常学級在籍児童も含む)」
→ **学期はじめに作成・追記 学期末に検証・修正**
- ④ 「外部機関」「外部人材(SC、SSW、不登校SP)」「地域」との連携
→ **必要な時は、直ちに管理職やコーディネーターに報・連・相**
- ⑤ 共通理解を深めるための「保護者面談等」の積極的な実施
→ **気になることは、その日その時即対応**
- ⑥ 「指導」も「称賛」も、目を合わせたアイアイ(愛愛)コミュニケーション
そして、その理由も添えて!! → **機会を逃すことなく**
「しないのではなく、できない。」「きっといつかは心に届く。」

(重点2) 「気付くまで」「できるまで」「わかるまで」の授業

- ①「滑石スタンダード」の実践 (特に言語活動の充実)
- ②「T・T」や「少人数・個別指導(特別支援教育、不登校対応も含む)」等を生かしたきめ細かな授業や学習の提供
- ③基礎学力の定着(「スキルタイム」「読書タイム」「自主学習」)
- ④「横断的な学習の成果を生かす場」の設定(「総合」「特活」「交流」等)
- ⑤「ギガスクール構想」の確実な推進(授業や家庭学習での積極的な実践)
→ **全学級・全授業** **正答率平均9割**
自主(家庭)学習15分×学年+15分 児童9割達成

(重点3) 「当たり前前ことを、当たり前前に」の生活指導

- ①生活目標の「確実な検証」 → **実行できるまで継続**
- ②「生活アンケート」の実施及び分析と保管 → **毎月実施** **いじめ継続ゼロ**
- ③「あいさつ」「あいてのきもち」「あるきかた」「あとしまつ」「4つの『あ』」の周知・徹底 → **毎日確認**
- ④「自治的、自発的活動」の場づくり(委員会、係、ポラ、縦割り、集団下校等)
→ **児童会活動を中心に意識と活動の継続(継続的な取組)**
- ⑤「動と静」の切り替え徹底(授業、集会、廊下歩行、当番、掃除、移動等)
「黙々移動、黙々当番、黙々待機、あじさいそうじ」 → **毎日確認**

(重点4) 「みんなで作る滑石小」をモットーとした

学校、家庭、地域の連携・協働

- ①学校からの「情報発信」(ホームページ、学年・学級だより等)
→ **学年・学級だよりは、月 回**
- ②地域組織・人材との連携・協働、「地域学校協働活動」の推進
→ **各学年1回は、地域人材を活用**
- ③「まなび愛」「つながり愛」「わかり愛」のあるPTA活動の推進
→ **各学年1回は対話型懇談会実施** **メディアルールあり家庭100%**
- ④図書館教育やNIE教育を通じた、読む習慣の涵養及び家庭読書の推進
→ **読書が好き児童8割** **新聞の活用(発表、調査研究、教室掲示)全学級**

(重点5) 「元気」「やる気」「根気」につながる

保健・安全指導

- ①「基本的な感染症予防」の継続 → **換気、健康観察 毎回・毎日**
- ②「早寝、早起き、朝ご飯」の定着 → **まずは9割 要検証**
- ③「歯磨き、フッ化物洗口」の安全な実施 → **フッ化物洗口は週1回火曜日の昼**
- ④集団生活の場としての危機管理意識の向上(事故に遭わない、遭わせない)
登下校も含め危機意識をもって徹底指導 → **重大事故ゼロ**
- ⑤「なつははち運動」の意識付け、定着 → **忘れる児童ゼロ**
な なふだ **つ** つめきり **は** 歯磨き
は はんかち **ち** ちりがみ